

孤独という「見えない赤字」を解消する

企業と社会の未来を守る「つながり」のインフラ戦略

従業員10名の企業が直面する、最大の経営課題への解答

迫り来る「コミュニティなき孤立時代」

「変化に備える者だけが生き残る。」
— チャールズ・ダーウィン



団塊世代の高齢化



未婚率の過去最高



国による在宅医療・介護の促進



2040年

医療・介護人材約**100万人**不足

支え合える家族・友人がいない従業員は、自身や家族の病気・介護の際、公的なサポート不足と在宅ケアの負担増により、「突然働けなくなるリスク」を抱えています。助けを求められる繋がりを自分で作る事が必要な社会へ。

「孤独は最も深刻な貧困である。」
— マザー・テレサ

孤独は、企業を蝕む「見えない赤字」

「企業は人なり。」
—— 松下幸之助



国家レベルの対策

- ・ イギリス：孤独担当大臣 (2018)
- ・ アメリカ：孤独を公衆衛生危機として宣言 (2023)
- ・ EU：孤独対策を政策化
- ・ 日本：孤独・孤立担当大臣 (2021)

国家が動いたのは、孤独が経済に深刻な影響を与えると分かったから

たった1人の欠勤・離職が、中小企業の業績に直結します。

本能に刻まれた「孤独＝死」の恐怖

太古の昔、集団から離れることは「死」を意味しました。

現代でも、脳は孤独を「**生命の危機**」と判定し、デジタルコンテンツで紛らわせても根本的解決には至りません。



【孤独は感情ではなく、**医学的リスク**】

- 喫煙**15**本/日と同等の健康被害
- 孤独は死亡率を**26~32%**上昇させる
- 慢性炎症・免疫低下・判断力低下・回復力の著しい低下

企業を守る最強の防具は「緩やかなつながり」

企業はその「きっかけ」をつくることができます。

死亡リスクの低減

社会的つながりが
強い人は
リスクが26%低い

メンタル不調の防御

相談相手がいる人は
メンタル不調
リスクが半減

介護離職の防止

家族・友人の支えは
介護離職を
大幅に減らす

【センターピンは、緩やかな繋がり】

「多様な人との関わり」が優秀な人材を創る

Q. 50名の経営者に聞きました。あなたなら、どちらの人材を採用したいですか？



経営者の100%が【B】と回答。

サードプレイス=多様な人材と出会える心の居場所。
多様な人間関係を持つ人は、視点が広がり、「回復力」と「主体性」が飛躍的に上がります。
経営者自身が【経営者団体】で成長しているように、従業員にも【繋がり場】が必要です。

「心のレジリエンス(回復力)」が業績を直撃する

つながりは伝播します。
1人の繋がりが周囲の
参加意欲を高め、
波のように組織全体へ
広がります。



- 組織レジリエンスは業績と
相関する

(Safety Science, 2026)



- レジリエンスは“更新力
(Renewal)”を高める

(European Research on Management
and Business Economics, 2026)

- 変化に適応し、組織を更新する
力が業績を押し上げる

変化の激しい時代だからこそ、回復力が問われます。

令和のコミュニティ再生インフラ サードプレイス提供型福利厚生 【らふっと】

趣味、スポーツ、ボランティアなど、人と人がリアルに出会える
「ちょっと笑いに行く休日」を従業員へ提供するポータルサイト。

【これら5つを同時に実現する唯一のモデル】



日本の未来を変える『希望の5年』(2026-2030)



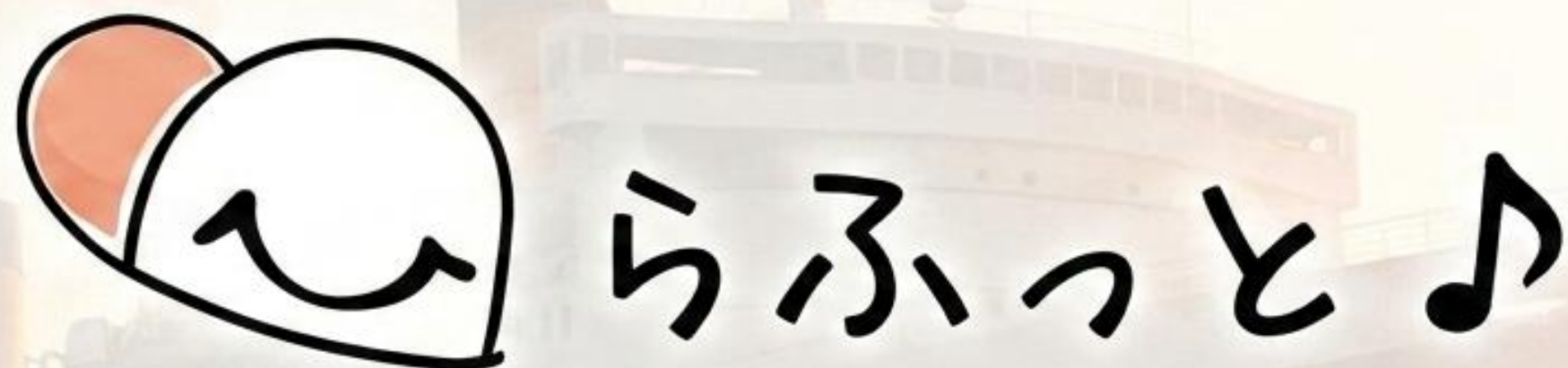
出産可能年齢人口 (20代後半～30代女性) がこの10年横ばいを保つ今。
2026年からの5年間で、少子化をV字回復させるラストチャンスです。
企業が従業員に出会いのきっかけを提供することが、
恋愛・結婚への心理的ハードルを下げ、少子化改善の「最初の10%」を動かします。

「希望は行動から生まれる。」

—— エリック・ホッファー

年間33,000円で、この日本を救う船に乗りませんか？

「文化は戦略に勝る。」 — ピーター・ドラッカー
企業が文化を創造する。この決断が、自社と日本の未来を変えます。



サードプレイス提供型福利厚生【らふっと】

- ✓ 圧倒的コストパフォーマンス：年額 33,000円 / 1社**
- ✓ 人数無制限**
- ✓ 回数無制限**
- ✓ 即導入・即社会実装可能**

コミュニティを再生し、企業と日本に活力を。